

●東松島市との連携覚書締結後の主な取り組み

(2017年3月31日時点)

主な取り組み	内容	締結以降の成果	
東松島-JICA 定例会	東松島市の復興、地域活性化、またその過程を広く世界と共有することを目的に、東松島市と JICA(東北支部、社会基盤・平和構築部)との間で定期的な会合を実施。	年6回開催。	
地域復興推進員の配置	推進員だより	2名の推進員が活動を紹介する広報誌。	
	野蒜地域	ひがしまつしま福幸まつり	協力隊 OV、草の根技術協力実施団体等と協力し、途上国を紹介するブースを出展。
		野蒜復興新聞	被災地域で、復興情報を地域住民に共有するための広報誌の継続的な発行を支援。
		野蒜まちづくり協議会	同協議会(専門部会)と協力し、スタディツアー、JICA 研修員等を受け入れ。
	宮戸地域	宮戸夏まつり	協力隊 OV、長期研修員とブース出展。
新宮戸八景の PR		新宮戸八景、新宮戸八景物語の英訳作成協力。	
研修事業	JICA 研修員向け 東松島スタディツアー立ち上げ・実施	途上国からの研修員が東松島の復興の取り組みを学べるよう、復興を担う中間支援組織 HOPE と連携し、スタディツアーを立ち上げた。参加者は 2015 年度 133 名(10 件)、2016 年度 144 名(13 件)。	
	民宿への宿泊促進	東松島を訪れる途上国の研修員が日本文化を体験できるよう、宮戸地区の民宿へ宿泊する取り組みを実施中。2015 年度は 47 名、2016 年度は 75 名が参加。	
草の根技術協力事業	草の根技協：バンダ・アチェ市と東松島市による相互復興：地域防災のためのコミュニティ経済活性化モデル構築事業(インドネシア) 2013～2015 年度	2004 年に起きたスマトラ島沖地震で被災したインドネシアのバンダ・アチェ市と東松島市がお互いに学び合いながら復興することを支援する事業。	
	草の根技協：奥松島の技術を活かしたレイテ州被災漁村に於けるカキ養殖と水産加工品開発(フィリピン) 2015～2018 年度(実施中)	2013 年の台風ヨランダにより被災したフィリピンのレイテ島のカキ養殖を、同じくカキ養殖が盛んな東松島市の技術を通じ、復興支援する事業。	
	草の根技協：バンダ・アチェ市と東松島市における住民主体での地域資源利活用による相互復興推進プログラム(インドネシア) 2016～2019 年度(実施中)	津波被災後のインドネシア・バンダ・アチェ市と東松島市、両市の経験・ノウハウを持続的に実践・自立発展させていく地域復興事業。	
開発教育の拡充	学校や市民センターでの出前講座実施	野蒜市民センター、鳴瀬未来中学校、石巻西高等学校にて実施。	
その他	仙台防災未来フォーラム	JICA が主催した 2016 年度のシンポジウムで東松島市関係者が登壇。東松島市の国際協力の取り組みを取り入れた復興事業について紹介。	
	台風ヨランダ復旧・復興プロジェクトの国内支援委員としての市関係者の協力	3度にわたり、レイテ島、サマール島で復興にかかわる助言を行った。	